

高品質な細胞医療製品の製造と研究開発期間の短縮を目指す 安川電機のロボット技術と アステラス製薬の製薬技術を融合した 細胞医療プラットフォーム構築について

当社はアステラス製薬株式会社(以下 アステラス製薬)と5月17日(金)にロボット技術と製薬技術の融合による革新的な細胞医療プラットフォームの構築に向けた覚書を締結しました。本覚書は両社間の提携に関する法的拘束力のない覚書であり、今後、両社間で具体的な検討を進めていくこととなります。

本覚書に基づき、細胞医療分野における研究初期から製品化に至るまでをシームレスにつなぐことで、高品質な細胞医療製品の製造と研究開発期間の短縮を実現する、新たな細胞医療プラットフォームを共同で創出することを目指します。そして、両社で開発したプラットフォームをスタートアップやアカデミアに提供し、薬機法*に基づく治験薬製造への投資を軽減するとともに、イノベーションの発掘、育成に寄与できる優位性のあるサービスの構築も目指していきます。

細胞医療製品の新薬承認までの開発においては、作業プロセスが熟練者の「匠の技」に頼っており、安定性・再現性が低いという製品製造の難しさがスタートアップやアカデミア単独で細胞医療を事業化することの大きな障壁の一つとなっています。また基礎研究からGMP(医薬品の製造管理および品質管理の基準)に沿った製造あるいは商業生産への技術移転が困難かつ大規模・高額な製造関連投資が必要となるなど多くの課題を抱えています。

そのような中、アステラス製薬は2017年末に、当社の子会社であるロボティック・バイオロジー・インスティテュート株式会社(以下RBI)が開発・販売しているバイオ向け双腕ロボット「まほろ」を導入し、細胞医療の創薬研究および製造技術研究を進めてきました。今回の取組みにおいては、この「まほろ」を活用し、細胞医療における革新的な細胞製造技術、臨床開発および細胞医療に関連する当局の規制に関する知見を、プラットフォームの構築に向けて提供していきます。

一方、当社では新中期経営計画「Realize 25」の主な戦略の一つとして、メカトロニクス応用領域の事業拡大を掲げ、クリーン環境で動作するロボットを医療・食品・農業向けなどに開発・販売してきました。これまで培ってきた技術を細胞医療に活用する取組みを強化しており、当社が提唱する自動化にデジタルデータ活用を加えたソリューションコンセプト i³-Mechatronicsの展開も見越した今回の取組みを通じ、細胞医療分野を起点とした医療領域における安川グループの価値を高めていくことを見込んでいます。

両社の相互の強みを生かした細胞医療の取組みは、新薬の製品化・安定供給・収益化を加速させるとともに開発環境の改善などにつながるものであり、アステラス製薬との協業を通じて医療領域におけるサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

* 薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

バイオ向け双腕ロボット「まほろ」



● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 TEL: 093-588-3076

営業拠点での環境に配慮したCO₂排出削減の取組み 中部ロボットセンタにおけるカーボンニュートラル (CO₂排出量ゼロ)を達成

当社は、グローバルな社会課題である地球温暖化に伴う気候変動の抑制に対する取組みとして、安川グループの環境ビジョンである「YASKAWA ECO VISION*1」で2050年カーボンニュートラル目標を掲げています。そのマイルストーンでは2030年のグローバルの事業活動に伴うCO₂*2排出量(スコープ1*3+スコープ2*4)の削減目標を2018年比で51%に設定するほか、調達先やお客さまなどを含めたサプライチェーンの上流および下流における排出量(スコープ3*5)の2030年の削減目標を2020年比で15%とする目標を加えるなど取組みを加速させています。

そのような中、中部ロボットセンタ(愛知県みよし市)において事業所のエネルギー構成の100%を電力のみで供給することで、国内の拠点として初めてカーボンニュートラル(CO₂排出量ゼロ)

を達成しました。

当社グループは、「YASKAWA ECO VISION」において、生産活動(グリーンプロセス)における環境負荷を従来以上に低減するとともに、技術力をもって環境性能を高めた製品(グリーンプロダクト)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たすことを掲げています。CO₂排出削減の指標として、2025年に世界最高性能を誇るインバータなどの当社製品供給によるCO₂削減貢献量を当社グループによるCO₂排出量の100倍以上とする独自の目標「CCE100*6」を掲げて事業活動に取り組んでおります。このような生産活動や製品での貢献にとどまらず、営業拠点での環境に配慮したCO₂排出削減の取組みを通じて、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上を図ります。

*1 安川グループの環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」について
<https://www.yaskawa.co.jp/company/csr/env/activity>



- *2 二酸化炭素およびその他温室効果ガス(フロン等)を含む
- *3 スコープ1：主に燃料使用に伴う排出(自社の直接排出)
- *4 スコープ2：購入した電力・熱の使用に伴う排出(電力会社等による自社の間接排出)
- *5 スコープ3：スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)
- *6 Contribution to Cool Earth 100

中部ロボットセンタ



● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 TEL: 093-588-3076

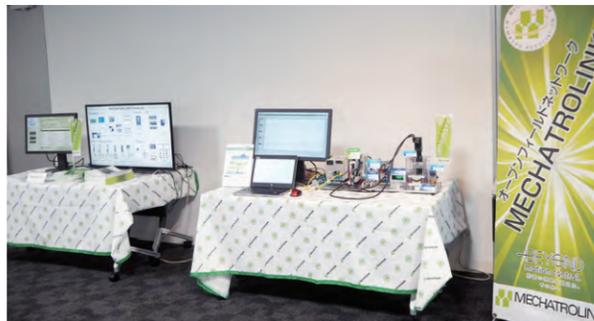
スマートファクトリーを実現するカギ 新世代産業用ネットワーク技術で現場革新 MECHATROLINK協会 2024年度総会開催報告

6月7日(金)に、MECHATROLINK協会(MMA)2024年度総会が秋葉原のUDXカンファレンス(東京都千代田区)にて開催されました。上山幹事長(当社モーションコントロール事業部長)による開会の挨拶に始まり、MMA事務局代表による2023年度活動報告、および2024年度活動計画が発表されました。その後、当社からMECHATROLINK機能安全への取組みについて説明を行いました。

後半の部では、(株)アナザーウェア様をお招きし、「製造DXに必要なSMKL指向とOPC UA」をテーマに基調講演を行っていただきました。続いて、関西学院大学 イノベーション・システム研究センター長の玉田様による特別講演として、「破壊的新規事業の起こし方」と題してお話いただきました。普段は気付かないことや考えない視点からのお話に、参加者の皆さまが興味深く耳を傾けている姿が大変印象的でした。

総会終了後は、立食形式での懇親会を開催しました。参加者同士や講演発表者の方々との交流の場として、和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がっていました。

今後も、MECHATROLINKの普及活動に積極的に取り組んでまいります。



MECHATROLINK協会とは?

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために、2003年にオープン化し発足された組織です。製品開発メンバーおよびユーザーで構成されています。安川電機を含む、幹事会社8社を中心に運営されており、約3,700社の会員企業が参画しています。

MECHATROLINK協会 総会

1	MECHATROLINK協会 幹事長挨拶	株式会社 安川電機 モーションコントロール事業部長	上山 顕治
2	MECHATROLINK協会 活動報告・活動計画	MECHATROLINK協会 事務局代表	下畑 宏伸
3	MECHATROLINK機能安全への取組み (MECHATROLINK-Safetyの概要と特徴)	株式会社 安川電機 技術開発本部 コントローラ開発部 機能安全開発課	前原 伸一
4	基調講演： 「製造DXに必要なSMKL指向とOPC UA」	株式会社 アナザーウェア IoT事業部 事業部長 IoT事業部 セールスエンジニア	山浦 輝和 様 大塚 雄太 様
5	特別講演： 「破壊的新規事業の起こし方」	関西学院大学 イノベーション・システム研究センター長	玉田 俊平太 様

懇親会

立食パーティ・歓談

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大課 TEL: 04-2962-6359

機械部品、加工技術、表面処理などの展示会でMECHATROLINKをPR MECHATROLINK協会 「第27回 機械要素技術展[大阪]」出展案内

機械部品、加工技術、表面処理などの展示会「第27回 機械要素技術展 [大阪]」が10月2日(水)～4日(金)の3日間、インテックス大阪で開催されます。

MECHATROLINK協会(MMA)は、モーション技術・モータのエリアにブースを構え、最新のMECHATROLINK対応機器を搭載した実機によるデモンストレーションの実施や、MMAメンバー企業のラインアップをご紹介します。

安川電機も協賛企業として参加し、MECHATROLINK対応製品のデモを行います。

スマートファクトリーを実現するカギとなる、新世代産業オープンネットワーク「MECHATROLINK」と「Σ-LINK II」により、製造現場のデータ収集や装置性能の向上を可能とする技術を、是非ご覧ください。

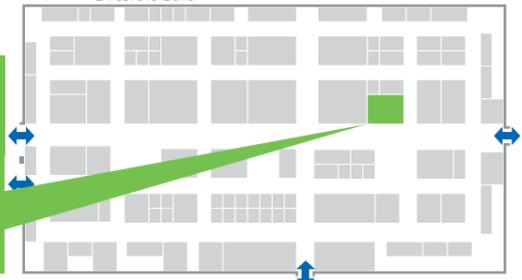
会 期 2024年10月2日(水)～4日(金)
10:00～17:00
会 場 インテックス大阪
MMAブース小間番号：25-56(4号館)
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.manufacturing-world.jp/osaka/ja-jp/about/mtech.html>



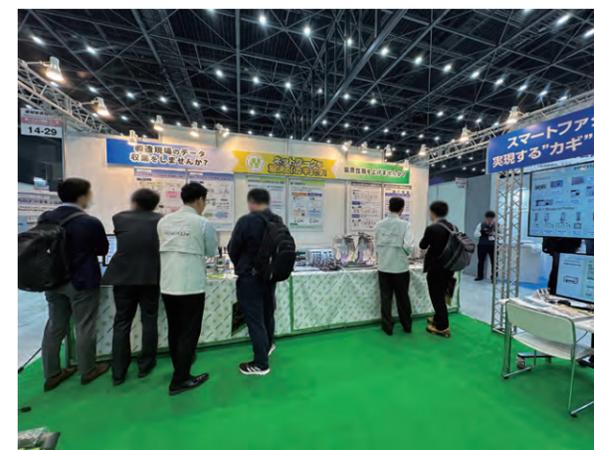
- ご来場には事前登録が必要です。
- 入場は無料です。



4号館案内図



MMA
ブース
4号館
25-56



「第9回 機械要素技術展 [名古屋]」での出展の様子



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大課 TEL: 04-2962-6359